

論文「21世紀のグローバル資本主義」（『人文研究』）への参考文献

安倍芳裕「これがロスチャイルドが知って隠したマネーシステムの全貌だ」
赤羽剛『巨大財閥の秘密』三一新書
アームストロング「ロスチャイルド 金権王朝」徳間書店
アレン「ロックフェラー帝国の陰謀」
『朝日新聞』2012・1.6、インタビュー。
石井『現代中国のリベラリズム思潮』藤原書店。
石平『暴走を始めた中国2億6000万人の現代流民』講談社 2015年。
石平『中国大虐殺史』ビジネス社 2007年。
イングラム「ベクテル・ストーリー」鹿島出版会
イングドール「ロックフェラーの完全支配 マネートラスト」
イングドール「ロックフェラーの完全支配 ジオポリティクス」
板垣英憲『ロックフェラーに翻弄される日本』サンガ新書
池田旭『韓国の族閥・軍閥・財閥』中公新書
井口泰『外国人労働者新時代』ちくま新書
池内紀『富の王国ロスチャイルド』東洋経済
ウエッシュバーク『マーチャント・バンカーの内幕』
デリク・ウィルソン『ロスチャイルド 富と権力の物語』上下 新潮文庫 平成7年
ウルクィンス『多国籍企業の史的展開』ミネルヴァ書房 1973年。
エイベルズ「ロックフェラー」河出書房新社
エリザベス・エコノミー『中国環境レポート』菊池書館 2005年。
遠藤誉『チャイナ・ナイン』朝日 新聞出版 2012年。
遠藤誉『毛沢東』新潮社 2015年。
延近充『二世紀のマルクス経済学』慶応大
大森実「ライバル企業はつぶせ」講談社
鬼塚英昭「ロスチャイルドと原発マフィア」

カルデロン、同、32ページ

金子勝『閉塞経済』ちくま新書
神谷英樹『強欲資本主義 ウォール街の自爆』文春新書 2008年
上条勇『グローバリズムの幻影』梓出版 2006年
菊川征司『ヤミの世界金融の超不都合な眞實』徳間書店
同『世界恐慌という仕組みを操るロックフェラー』徳間書店
同『ロスチャイルドが世界政府のビッグブラザーになる』徳間書店
倉田 稔「グローバル資本主義の物語」NHK ブックス。 電子版
クルツ『ロスチャイルド家と最高のワイン』日経
『紅の党』朝日新聞社、2013年、85ページ。
「黒い絆 ロスチャイルドと原発マフィア」
ポール・ケネディ『大国の興亡』上下 草思社

コールマン、太田「ロスチャイルドの密謀」成甲書房
コールマン+太田「ロスチャイルドの陰謀」セイコ ショボー
近藤浩一「スウェーデン」水曜社
近藤大介『未来の中国年表』講談社。
黄文雄『世界中に嫌われる国・中国 崩壊のシナリオ』WAC 2012年。
黄文雄『日本人が絶対に理解できない中国人と韓国人』徳間書店 2013年。

酒井啓子『イラクとアメリカ』岩波新書
酒井啓子『現代イラン』岩波新書
酒井啓子『イラク 戦争と占領』岩波新書
真田「世界の富の99%はハプスブルク家と英国王室が握っている」宝島新書
斉藤幸平「人新世の資本論」集英社新書
榊原英資『経済の世界勢力図』文春文庫 2007年
佐藤唯行『アメリカ・ユダヤ人の経済力』PHP出版 1999年
崔虎敏『習近平の肖像』飛鳥新社 2015年。
ジョンソン『帝国アメリカと日本 武力依存の構造』集英社新書
スーザン・ジョージ「なぜ」世界の半分がうえるのか」朝日選書
スーザン・ジョージ『WTO徹底批判』作品社
渋井『ザ・ロスチャイルド』ダイヤモンド
白石隆『海の帝国』
白戸圭一『ルポ 資源大陸アフリカ』東洋経済。
ジョンソン『帝国アメリカと日本 武力依存の構造』集英社新書
H・ジェイムズ『アメリカ<帝国>の苦悩』人文書館 2009年
ジャン・ジグレル『世界の半分が飢えるのはなぜ』合同出版 2004年
ジグレル『資本主義って悪者なの』CCCメディアハウス
『小皇帝時代の中国』岩波新書。
朱建栄『江沢民の中国』中公新書 1994年。
『週間東洋経済』2012. 4.
「知られざる世界権力の仕組み」
H・ジェイムズ『アメリカ<帝国>の苦悩』人文書館 2009年
スティーブン・スティルバーグの映画「シッコ」
鈴木啓功「地球支配階級 仕掛けた悪魔の世界戦争ビジネス」
「石油の歴史」文庫クセジュ
銭 理群『毛沢東と中国』青土社 原本は、台湾 聯経出版事業公司
『世界の企業2, ロスチャイルド』
ゾンバルト『ユダヤ人と近代資本主義』
宋鴻兵『ロスチャイルド 通貨強奪の歴史とそのシナリオ』ランダムハウス講談社、2009年
副島隆彦『ロスチャイルド2000年の栄光と挫折』
副島隆彦『世界覇権の大きな眞實』

副島隆彦『中国の世界支配は進む』

副島隆彦『世界覇権国アメリカを動かす政治家と知識人たち』講談社＋アルファ文庫
1999年

高橋文利『メディア資本主義』講談社

チャーナウ『ウオーバーク ユダヤ財閥の興亡』上、下 日経

チャーナウ「タイタン ロックフェラー」上下

チャーナウ『モルガン家』上下、日経ビジネス人文庫、2005年

萬谷迪『世界開発と南北問題』八朔社

富坂聡『中国という大難』新潮文庫 平成25年。

富坂聡『ルポ 中国「欲望大国」』小学館101新書 2008年。

富坂聡『中国の地下経済』文春新書 2010年。

『長周新聞』2004. 1. 27

堤未果「ルポ 貧困大国アメリカ」「同 2」岩波新書

陳、春『中国農民調査』文藝春秋。原書は2004年出版。

『中国現代化の落とし穴』。

天兒慧『中華人民共和国史』岩波新書 2013年。

陳桂隸{辺が木偏}・春桃『中国農民調査』文藝春秋 2006年。

田代秀敏『中国経済の真相』中経出版 2013年。

ポール・ケネディ『大国の興亡』上下 草思社

中木康夫『歴史の人間像 ロスチャイルド家 世界を動かした金融王国』誠文堂新光社、昭和35年

中田敦彦『華麗なる一族 ロスチャイルド』

西川潤『世界経済入門』第2版、岩波書店 1998

『ネオコンとアメリカ帝国の幻想』朝日新聞社

何青連（サンズイを加える）『中国の嘘』扶桑社。

アレクサンドラ・ハーニー『中国貧困絶望工場』日経BP社 2009年。

浜田和幸『ヘッジファンド』文芸春秋 平成11年

浜田和幸「どうする胡錦濤！ 世界を悩ます「中国大トラブル」の無限地獄」（『『新潮45』2007年7月）

浜田和幸『ブッシュの終わりなき戦争』講談社＋α文庫

浜田和幸『ブッシュの終わりなき戦争』講談社＋α文庫

原田武夫『世界通貨戦争後の支配者たち』小学館

サムエル・ハンチントン「文明の衝突」

レイモンド・バーノン『多国籍企業の新展開』ダイヤモンド社 1973年。

マイケル・ハドソン『超帝国主義国家 アメリカの内幕』徳間書店 2002年。

日高義樹『アメリカの世界戦略を知らない日本人』PHP出版 2003年

トマ・ピケッティ『21世紀の資本』

平野研「資本主義的帝国主義と低開発」北大『経済学研究』
広瀬隆『世界石油戦争』NHK出版
広瀬隆『アメリカの巨大軍事産業』集英社新書
広瀬隆『アメリカの経済支配者たち』集英社新書
広瀬隆『資本主義崩壊の首謀者たち』集英社新書
広瀬隆『一本の鎖』ダイヤモンド社
広瀬『地球のゆくえ』
広瀬 隆『赤い楯』上下
ニール・ファーガソン、Newsweek.August.31.2011、33 ページ
ブリオディ『戦争で儲ける人たち』幻冬社
ベンジャミン・フルフォード『アメリカが隠し続ける金融危機の真実』青春出版社
雑誌『フォーブス』日本語版
ジャン・ブーヴィエ『ロスチャイルド ヨーロッパ金融界の謎の王国』河出書房新社
藤井昇「ロックフェラー対ロスチャイルド」徳間書店
フォステイングス「ロックフェラー財団」法政大
船戸「ロックフェラーに学ぶ悪の不老長寿」ビジネス社
アンリ・ペイン『世界の財閥』白水社 1954年
ボーシェ『フランス財閥物語』ダイヤモンド 1971

『マネー資本主義』NHK出版
マリNZ『民間が所有する中央銀行』秀麗社
ユースタス・マリNZ『知られざる世界権力の仕組み ロスチャイルド&ロックフェラ
ー帝国の実態』上下、成甲書房
マリNZ『世界権力構造の秘密』上下、成甲書房。
丸川知雄『現代中国経済論』有斐閣アルマ 2013年。
デビッド・マタス、デービッド・キルガー『中国臓器狩り』アスベスト 2013 宮
崎正広『テロリズムと世界宗教戦争』徳間書店
六辻彰二『世界の独裁者』幻冬舎新書 2011
マイケル・ムーアの映画「華氏911」
モネステイエ『伝説の大富豪』宝島社文庫
最上敏樹『国連とアメリカ』岩波新書
モートン『ロスチャイルド王国』新潮社 平成8年

山内昌之『イスラームと国際政治』岩波新書
横山三四郎「ロスチャイルド家」講談社
クルツ・ヨアヒム『ロスチャイルド家と最高のワイン』
吉田元史『マネー敗戦』文春新書
吉岡桂子『愛国経済』朝日新聞社
横山三四郎『ロスチャイルド家』講談社 1995年
読売新聞中国取材団『膨張中国』中公新書 2006年。

ランドー『オサマ・ビン・ラディン』竹書房
ラシッド『タリバン』講談社
ラジャン、ジンガレス『セイヴィング・キャピタリズム』慶應義塾大学出版会 2006年
ジョン・リーヴス『ロスチャイルド』ロスチャイルド家公認の歴史
リービル「青い血族 ロックフェラー財閥の野望」
劉曉波『天安門事件から「08憲章」へ』藤原書店 2009年。
李 真実『中国共産党の紅い金』扶桑社新書 2017年。
李 真実『残虐の大地』扶桑社新書 2015年。
『ルポ 隠された中国』平凡社新書 2017年。
「ロスチャイルド家の戦争ビジネス」
ギイ・ド・ロスチャイルド『ロスチャイルド自伝』新潮社
エドモンド・ロスチャイルド『ロスチャイルド自伝』
「ロスチャイルド家」上下
「ロスチャイルドの世界覇権奪還で日本の政治経済機構はこうなる」
ロバン『モンサント』
「ロスチャイルド家、200年の栄華に幕 ーオーストリア最後の土地手放す」
ギイ・ド・ロスチャイルド『ロスチャイルド自伝』新潮社
渡辺光一『アフガニスタン』岩波新書
『ワーキングプア 日本を蝕む病』ポプラ社
渡辺利夫『社会主義市場経済の中国』講談社現代新書 1994年。
「私の家には奴隷がいた」
Gabriel Zucman, Global Wealth in Equality, jan 2019